



地域子育てネットワークだより

令和元年6月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課 電話:(078)341-7711 内線 2798

E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/network-dayori.html

「ひょうご子育て応援の店」 パソコンで会員登録が可能に！

県では、企業・店舗等が 18 歳未満の子どもがいる子育て世帯に割引・特典等のサービスを行う「ひょうご子育て応援の店」を平成 19 年から実施しています。現在、約 97,000 世帯がパスポート会員として県内約 4,800 店の協賛店から物販、飲食等の際に、サービスを受けています。平成 29 年 4 月からはパソコンからの会員登録も可能になりました。この機会にぜひご登録ください。



このマークが目印！

サービス内容の例 ※各企業・店舗等により設備や企画される特典は異なります。

- ・料金の割引(特定日に割引、ポイント加算、景品プレゼント等)
- ・協賛店が主催する行事への参加(子供向け行事への参加等)
- ・子ども連れにやさしい設備の利用(プレイルーム、授乳室、ベビーベッド等)

登録方法(登録:無料)

①パソコン: 下記「ひょうご子育て応援の店」ホームページの「会員登録ページ」に進み、登録するメールアドレスを入力してください。

スマートフォン(一部携帯でも可能): 右の QR コードを読み取り、表示されるアドレス (apply@hyogo-kosodate.jp) に空メールを送信してください。

②パソコン、スマートフォンとも返信されるメール記載の URL にアクセスし必要な項目を入力、送信いただくと「ひょうご子育て応援の店」パスポートを利用いただける URL が返信されます。

使い方 店頭で、表示されるパスポート画像を提示してください。



画面イメージ



QR コード

★協賛企業・店舗等の検索・サービス内容確認など詳しくは・・・「ひょうご子育て応援の店」ホームページ <http://www.hyogo-kosodate.jp/> 【問合せ先】男女家庭課 078-362-3385

ひょうご出会いサポートセンター～会員募集のご案内～

兵庫県では、少子化対策の一環として、「ひょうご出会い支援事業」に取り組み、現在では県内 10 カ所(※)と東京の「出会いサポートセンター」において、結婚を希望する 20 歳以上の独身男女を対象に、出会いの場づくりのお手伝いをしています。会員登録をお待ちしています。

※ 今年 4 月から県内全ての出会いサポートセンターにおいて、日曜日を開館しています。

① 「あいサポ会員 (イベント会員)」(登録料無料)

独身男女同士が交流できる「出会いの場」などのイベントに参加できます。

② 「はばタン会員 (お見合い会員)」(登録手数料は年間 5 千円。20 歳代は 3 千円)

各出会いサポートセンターに登録している、約 5 千人の会員(男性約 48%、女性約 52%)の中からお相手を探してお見合いをして頂き、交際をスタートすることができます。

※平成 31 年 3 月末までの「ひょうご出会い支援事業」を通じた成婚者数は、1,590 組となりました。

☆詳細は「ひょうご 出会い」

<https://www.msc-hyogo.jp>



(問合わせ先)

ひょうご出会いサポートセンター

TEL: 078-891-7415

子育て 応援ネットの 活動紹介

声かけ・見守り活動
などで子育て家庭を
応援する「子育て応援
ネット」の各地の取り
組みを紹介します。

淡路市子育てネットワーク推進連絡協議会は、子育て及び地域の見守りに関わる方々によって構成され、市内5地域（旧町）においても支部連絡協議会を発足し、地域に寄り添った活動を推進しています。

近年では、発達障がいのある子どもを持つ講師の先生をお招きし、その子育ての経験談や教訓を交えた講話により、障がいのある子どもの子育てへの理解を深められる講演会を開催しました。また、毎年秋頃には、兵庫県立淡路文化会館主催の「国生みの島元気っ子フェスティバル」に出展し、ものづくりや昔ながらの遊びを通して親子の交流を深めるとともに、子育てネットワークの啓発を行っております。

今後も、子育て世代の親子がひとりで悩んでしまうことがないように、地域全体で見守り、SOS をキャッチできる体制づくりに励みます。

淡路市子育てネットワーク推進連絡協議会



会長 上谷 敏行

まちの子育てひろば について



神戸市兵庫区にある児童館からはじまったサークル「みさきべあーず」です。

対象は、0歳～6歳の未就学児のお子さんと保護者の方です。

活動は、春はお花見、夏是水遊びや遠足、秋は消防署見学やハロウィン、冬はクリスマス会など、季節ごとに合わせた内容はもちろんのこと講師の方を招いてトイレトレーニングのお話や虫歯のお話などの勉強会もしています。

他には、メンバーの1人が指導し、手形足形アートやアロマオイルを使ったハンドメイド製作など、内容盛り沢山で年間を通して月に1回活動しています。

今では、親子ともども毎月のこの交流を楽しみにしています。

「みさきべあーず」

代表代理 平鍋菜美



連載
第140回

「令和」の幕開け

県立こども病院名誉院長 中村 肇

「国民を思い、国民に寄り添う」という天皇陛下の即位でのお言葉には、多くの国民が大変親しみを感じたのではないのでしょうか。小学3年生の孫娘もiPadの手を休め、テレビに映し出される天皇、皇后両陛下のお姿を食い入るように見つめていました。日本国及び国民統合の象徴としての天皇が、日本人みんなの尊敬する存在であること実感しました。皇室制は日本人にとっては当たり前のことですが、王室制のない外国人からは羨ましがられているのです。

私が住んでいる地域では「令和奉祝だんじり巡行」が開かれました。小雨降る中でしたが、沿道には多数の老若男女が訪れ、大変賑やかに門出をお祝いしました。お囃子とともに力を合わせて地車を引いた子どもたちにとっては、郷土への愛、新しい時代「令和」への思いが、生涯にわたり記憶として残ることでしょう。